



花
綴

弐

成
人
向











花綴

式

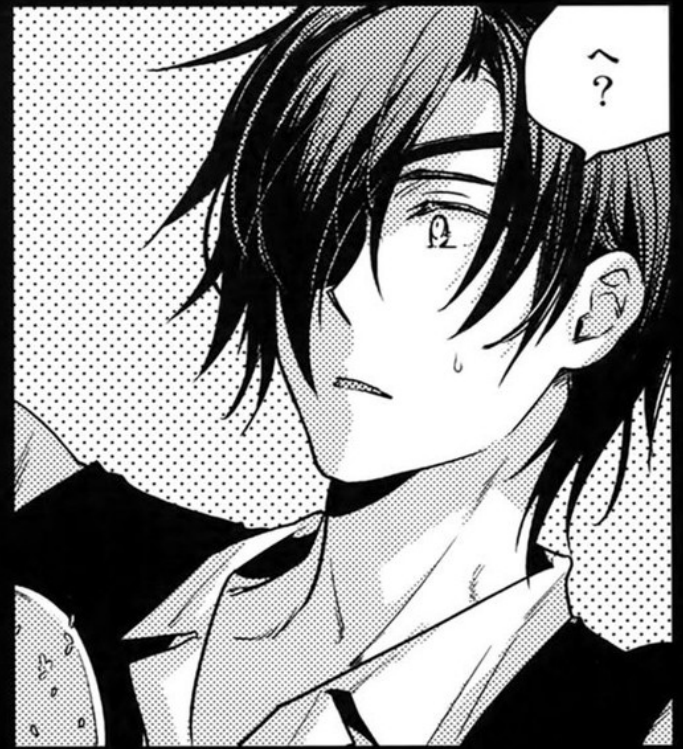




はこのなかにいる

くりみつでアレしないと出られない部屋の本です。光忠視点中心。







…チツ

ち

あ…休憩中
だったんだね…

虎くん
たちかな…



伽羅
ちゃんは？

ほ



厨でご飯
作ってたん
だけど…

また主くんの
気まぐれかなあ



光忠

近い

なんか上の方に
紙が貼ってある

狭いなあ…
箱の中つぼく
見えるね？

あ



fight!
片方がメスイキしないと
この箱からは
出られません

片方がメスイキ
しないと箱から
出られません！



打撃73

力には結構自信あるんだけどなあ



なんかキキしないと連呼するなだって

冗談だろ...



めすいきするってなんだろう...

伽羅ちゃんは知ってるの?

ああ...
まあ...

えっ
そうなんだ
方法も?



ふざけて読まされた本でしか知らない...

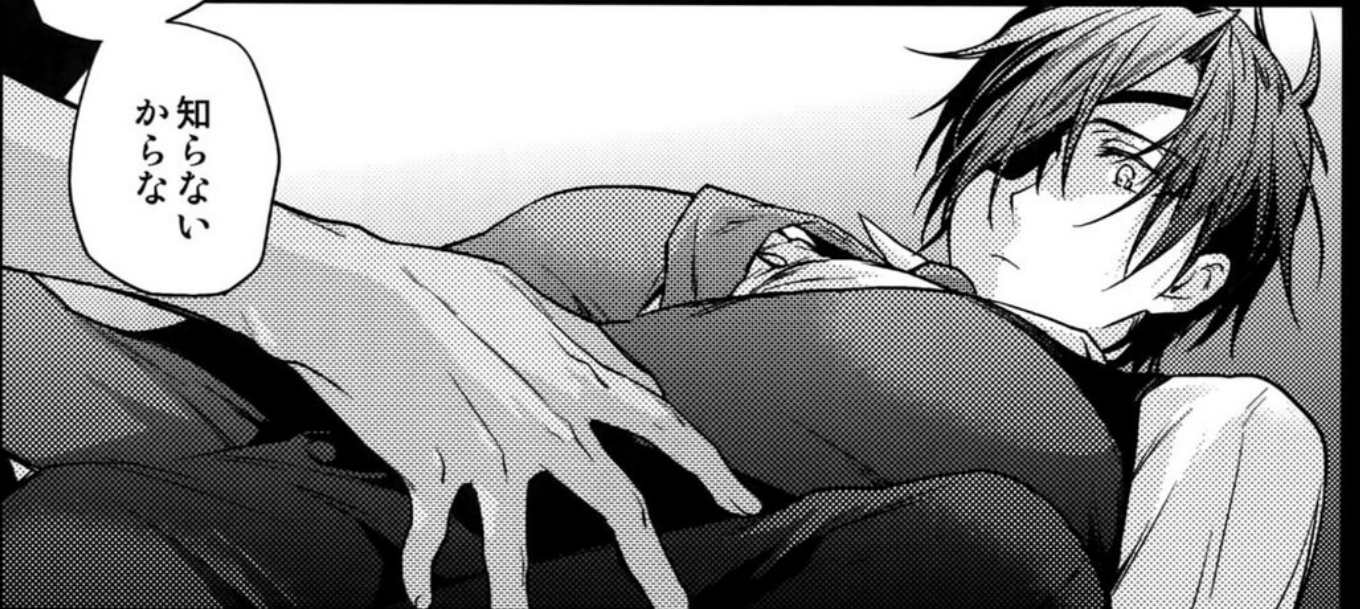
伽羅ちゃんめすいき出来るの?

む...無理だ

体力をかなり使うらしいし

俺はしようとは思わない...

なんで俺は誘導尋問されてるんだ...





伽羅ちゃん？

…逃げるなよ



あ…の

待って…



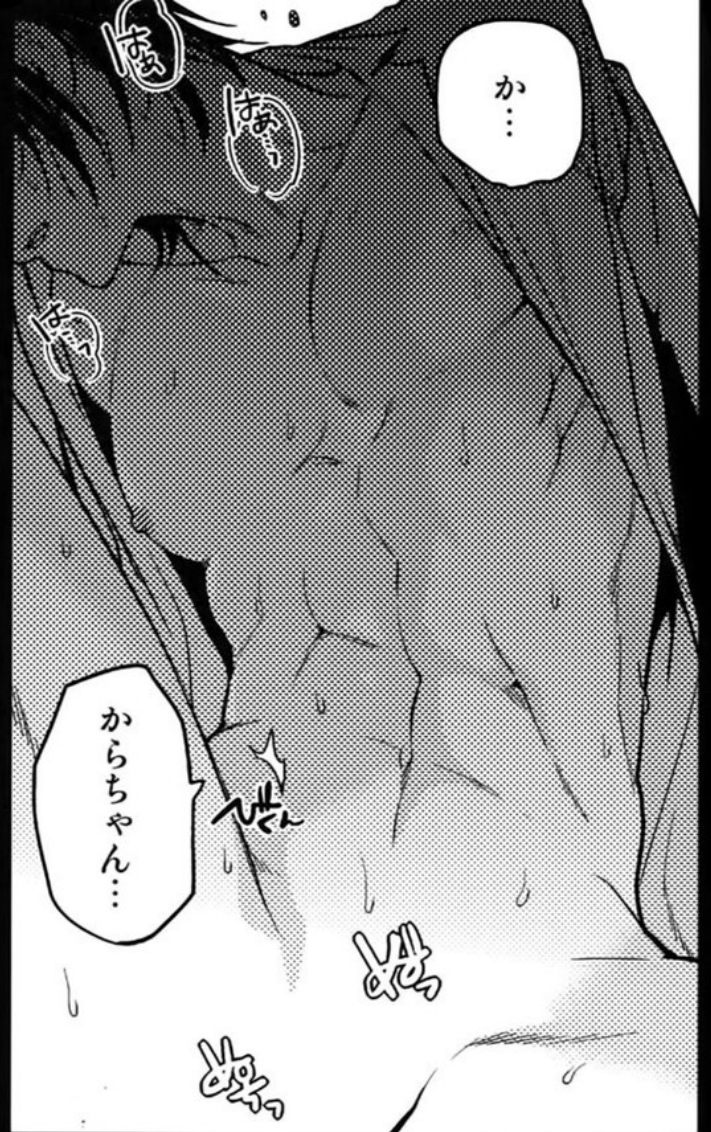
油でもあれば
よかつたん
だが…



こんな

お小姓さん
がすること
だったなんて

…嫌か？



か…

からちゃん…



や…

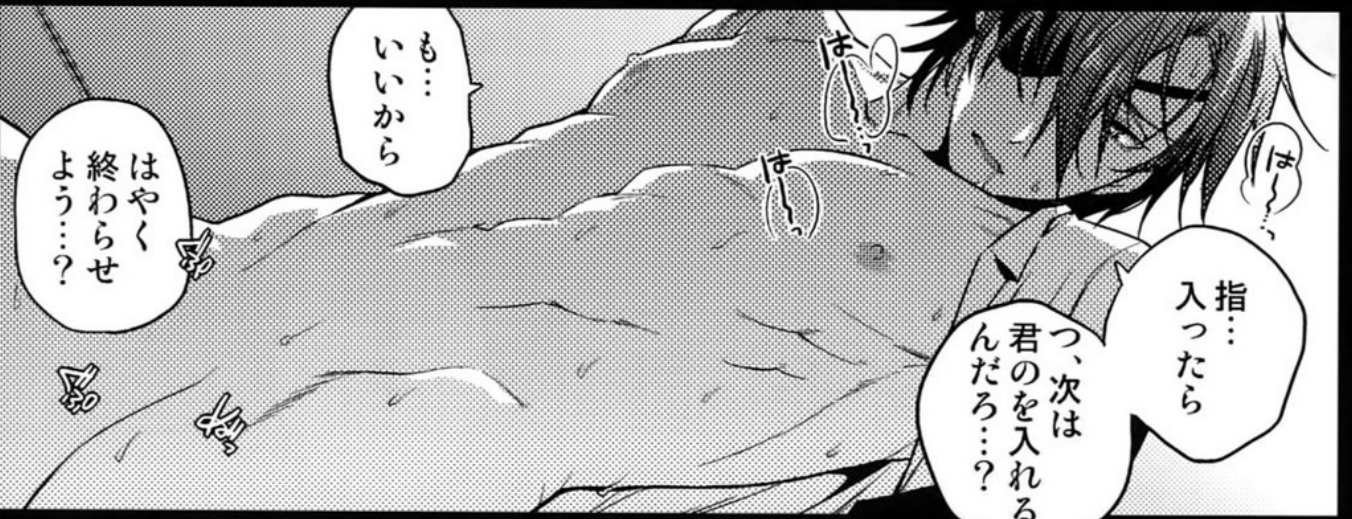
やらなきや
ここから
出られない
だろ…？

そ…
想像以上に
きつい…っ

お尻に
指を入れる
なんて

…僕なら
ちよっとくらい
乱暴にされても
大丈夫だから…

こんなこと
伽羅ちゃんに
させられないよ…



指…
入ったら

つ、次は
君のを入れる
んだろ…？

も…
いいから

はやく
終わらせ
よう…？





最初は指すら
入らなかったのに
中が疼いて
しょうがない



ムダなんだ

そうやって
穴を弄られて
いたのか

は……

あ、あ

光忠……

散々じらされた
そこはすっかり
ぐずぐずで



ん……



は……

ん……

奥……

は……
入っちゃ……

かたい

僕の中で
ひびひびする

あ……
あ……

おくに……

指じゃ
届かなかった
奥をもっと



めす

尻だけで
イける
だろう？

あんたは
メスに
なるんだ

あ



ここを
使わずに

や



もうここから
精を出すな

光忠

んあ
は



そ...そこ
やめ...っ

あ
あ



ん



メスなんて
ひどいよ...

からだ中の
どこもかしこも

君が
こんな
からなに

したんだから

こんなに
おかく
させておいて

は
あ



だ...め

ん

乳首なんて
なにも感じない
はずなのに



光忠…



なんで泣いてるの

泣き顔…

可愛いね



ん



ん



伽羅ちゃん

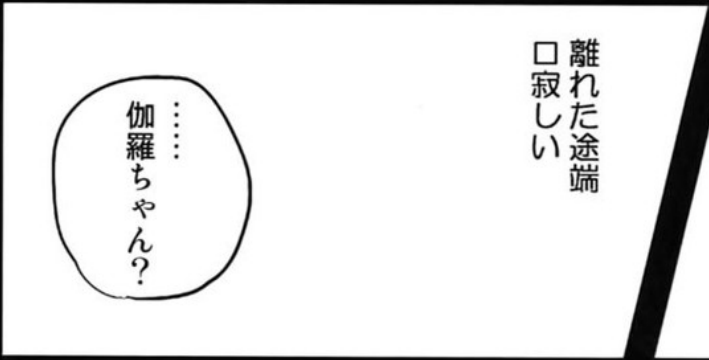
ん…っ





は…

口を付ける
だけなのに



離れた途端
口寂しい

……
伽羅ちゃん？



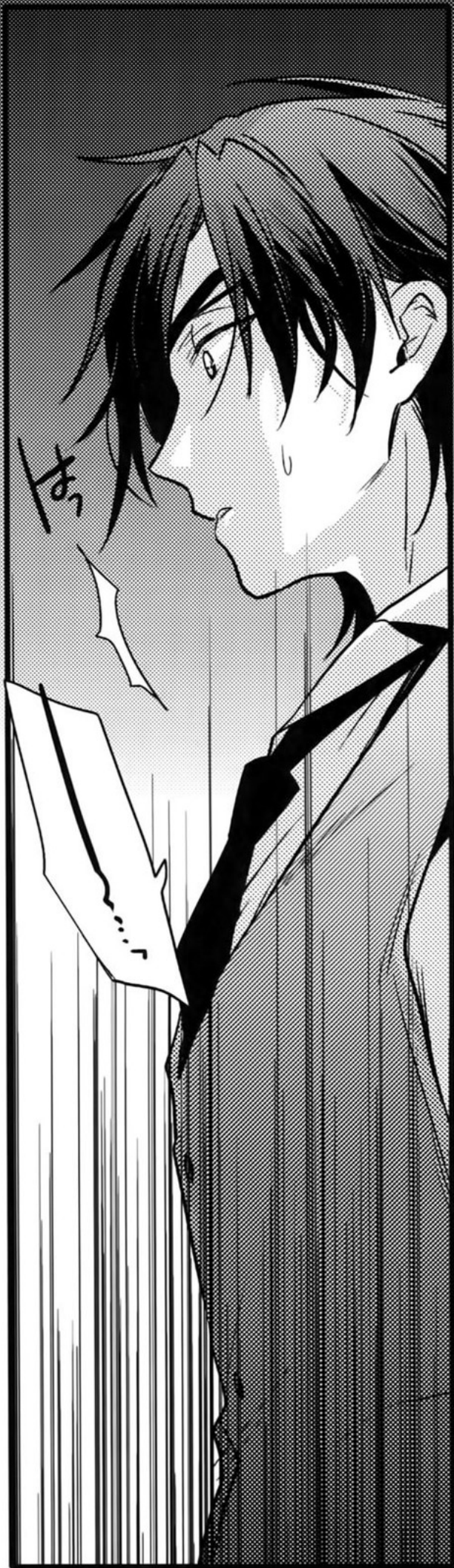
泣いて口付ける
大俱利伽羅が
心底可愛らしく
見えて

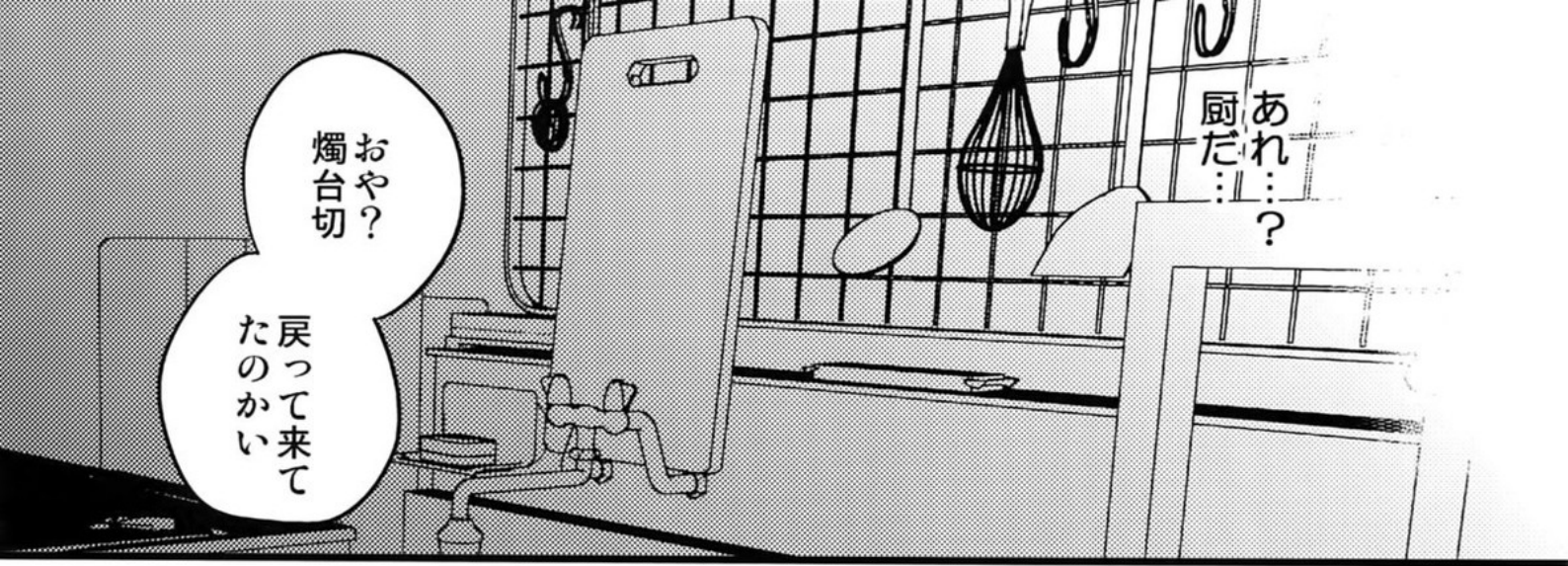
光忠
すまない…



あんたが
好きなんだ







あれ...?
厨だ...?

おや?
燭台切

戻って来て
たのかい

ごめん...途中で
抜け出して
迷惑掛けたよね

君は非番
なのに
手伝って
くれたんだ

逆に感謝
してるよ

途中で居なく
なったから
心配したよ

どうした
んだい?

歌仙くん...

夢だっただ
のかな...?

あ...

まずい

まさか
これって...

じゃあ
じゃあ

僕は部屋に
戻るから

うう…
漏れて
くるなんて
しい

箱から
出られた
ってことは

僕は
伽羅ちゃんに
メスにされて
しまったのか…

お尻の奥が
むずむず
する…

かきかき

う…っ
やっぱり

夢かど
思ったけど

僕は
伽羅ちゃんと
共寝を…

中に出された
やつだ…

夢じゃない
のなら

あの言葉も

色々と

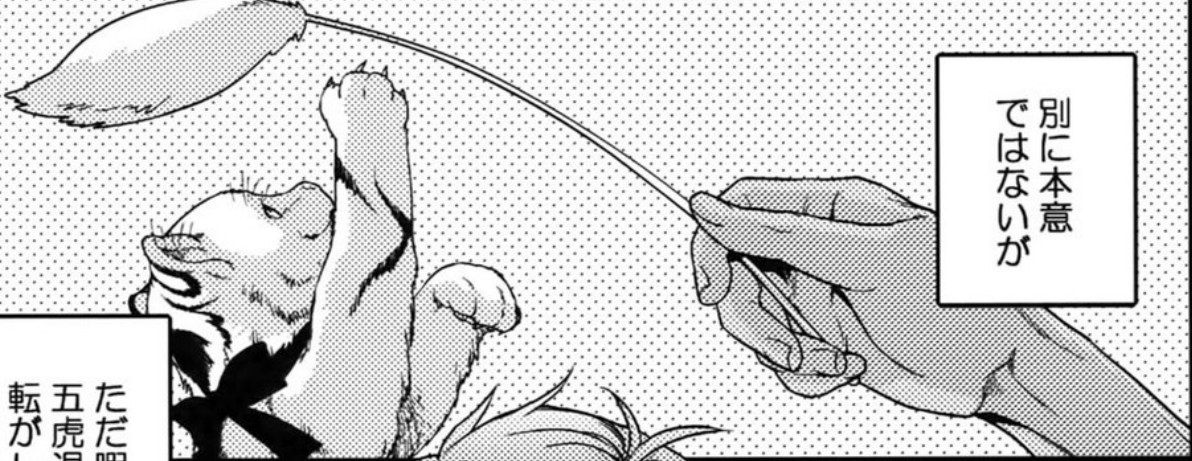
責任取って
もらわなきや
なあ…



はこのなかみは

くりみつでアレしないと出られない部屋の本の続きです。大俱利伽羅視点。





別に本意
ではないが

ただ暇潰しに
五虎退の虎を
転がしていた
はずだった

えっ？

なんで？

大俱利伽羅…？

なのに

何なんだ

この状況は…？

？

どうやら箱の
ような狭い部屋に
閉じ込められた
らしいということ

厨でご飯
作ってたん
だけど…

また主さんの
気まぐれかなあ

十中八九
審神者の
迷惑極まりない
趣味だろう

それよりも
この状況だ

あ

どうすれば

なんか上の方に
紙が貼ってある

お…
つし…
触…
つ…
い…
ま…
っ…
た…
ん…
で…

……
ッ！

ああ、
クソ…

こんな
つもりは

俺は光忠に
懸想して
いるのだ







…加州、

…あんた…

ん？
お前と
燭台切
のこと？

気付いてないの
につぶい連中
くらいだぜ

…さつきは
悪かったよ、
軽率すぎた

数百年越しの
恋路だもんな

ごめん

あつ
そういや

主がやきもき
してたから
そろそろ何か来る
と思うんだよね

審神者の
不思議パワー

近々お前らに
強制イベント
起こりそー
だなんて

でも不測の
事態こそ
チャンスだぜ
大俱利伽羅

備えあれば
憂いなし
ってね！

なんだ
それは

教科書

大事だろ
お勉強

エロ本
かほち？
また？

俺一回でいいから
恋のキューピッド
ってやつやって
みたくなってさ

不測の
事態って
なんだ

頼む
放つとい
てくれ

強制イベント
発生中

片方がメスイキ
しないと箱から
出られません!

不測の
事態

が

冗談だろ…?

あんた
解らない
のか

めすいき
するって
なんだろう…

伽羅ちゃんは
知ってるの?

審神者…
まさか本当に
やらかして
くるとは…

即物的すぎ
だろう…

……
仕掛けた意図を
知る俺が

よし！

じゃあ僕に
めすいきを伝授
してくれ！

はい……

幸い体力にも
自信があるし
不可能じゃ
ないだろう？

し……

心を告げない
まま光忠に
触れるなんて

知らずに
安請け合い
するんじゃ
ない……

俺こそ愚かで
即物そのもの
じゃないか

……どう
なっても

知らない
からな

伽羅ちゃん？

逃げるなよ



からちや...

むね、
なんて

おっ...

おっ



...身体が
緊張して
いるだろう

按摩
だと思え

おっ

おっ



せめて
優しくしたい

ここを揉むと
余計な力が
抜けるらしい

...我慢
してくれ

そ...う、
なんだ...?

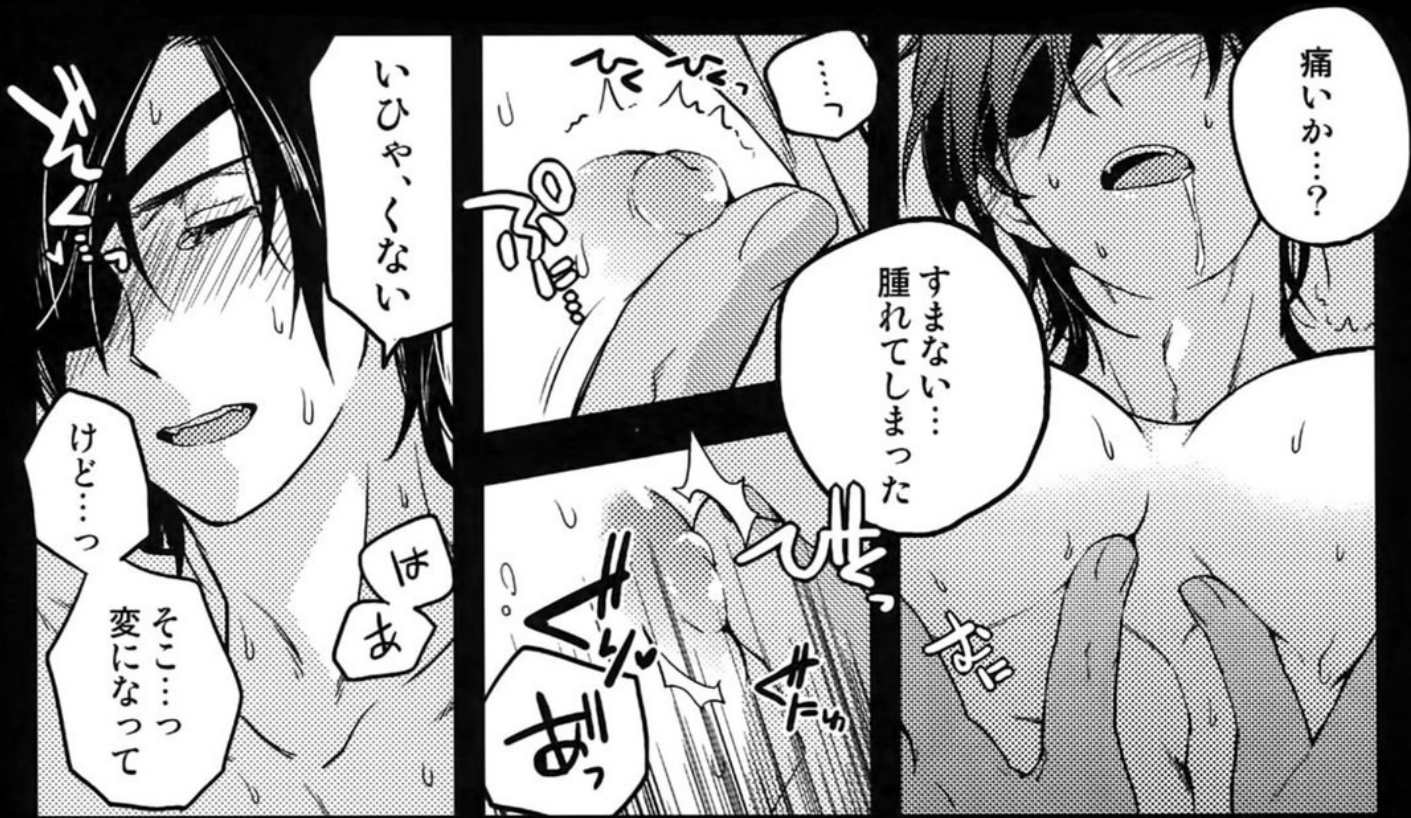
あっ

おっ

おっ

おっ

おっ



いひやくくない

ぐんぐん

そし...っ
変になって

は
あ



すまない...
腫れてしまった

痛いかな...?



痛くないなら
どう感じる?

教えてくれ
光忠

...俺の手で

光忠の一部を
作り変えて
しまった



...やわく
擦られる方
が好きか?

欲して
欲しいこと
はあるか

これでは
最早性器だ



そんなの…
言えないよ

僕ばかり
かっこ
悪い…

…そうか

ん

あ…っ

優しく
撫でたあとに
爪で弾くと
反応がいい

…どうだ？

ちよ…っ
ずるい

心地良い
ところは
声に出せ

この箱から
出るには

あんたが
気持ちよく
ならなきゃ
駄目なんだ

あ…っ

は



痛くないか…?

ん
…ふふ



…大俱利伽羅



君でよかった

…かっこ悪い
とこばかり
見せてるけどね



伽羅ちゃんが
痛いかって
聞いてくれる
のが嬉しくて

こんなところで
一緒になったのが
伽羅ちゃん
よかったなって

他の刀じゃ
嫌だったかも



…何故
笑う…

んまっ

んせんと

も…
もお…つ

可愛いな
……



……すまない、
光忠



俺の身勝手
な茶番に
巻き込んで

男らしさが
信条の
あんたから

身体を
奪って
しまった



酷いこと
をした

……俺の
せいだ




なんで
泣いてるの

泣き顔……
可愛いね

……伽羅ちゃん





茶番は
終わりに
しよう




すまない…

光忠

事態に乗じてただ
貪ってるだけの
刀などこいつに
相應しくない

…せめて



あんたが
好きなんだ

言葉
だけでも



.....?
?

あ...?
?



おまけページです

君らやっ
くつついた
のか~~~~

おめでと
さ~~~~ん

うん、
うん…



よかったね
大倶利伽羅…



あつ!
そうだ

僕たちが
閉じ込められた
経緯は伽羅ちゃん
から聞いたよ!

たね(*)

無理やり
すぎるでしょ
ダメじゃ
ないか!

くつついたから
いいじゃん

ん

もー!

めっ!
だよ!

元はといえば
俺が不甲斐無い
せいで…犬を悪く
言わないでくれ

すまない
光忠…

いいよお

僕こそごめん…
伽羅ちゃんは
悪くないんだよ
しよげないでくれ
でもそんなところも
可愛いねスキ!

絶対調だな
男を駄目
にする
タイプだ

まあいいか
閉じ込めた
甲斐がある
というもの





ご教示お願いいたします

初夜を失敗した新入りくりみつが手練れのくりみつにあれやこれや教えてもらう話です。燭燭描写があります。







歯を立てる
ならこっち
にしる

……っ
噛むのは
よせ、

はっ…



ごめんね…
キツイ…よね

い…いま
ちから抜くから
もう少し待つて…



あ…

…待つて、
抜…かないで



…だから
このまま僕を
使ってくれ…
おおくりから、

光忠…

…すまない

あんたを
痛めつけ
たくはない…

その日
初めて身体を
繋げた僕らは

ものの見事に
初夜を失敗
してしまった



途中までは
上手くいってたと
思うんだ多分…

…ああ…
あんな顔を
させたかった
わけじゃない
のに…



お尻の中は
鍛えようが
無いよ…

まさか失敗
するなんて…

次…また
その気になって
くれるかなあ



加羅ちゃんの方が
精神的にキツそう
だったな…

僕の方が丈夫だし
こちらが受け手の方が
スムーズに行けると
思ったんだけど



溜息が
多いね

身体もちよっと
体調悪そうだけど
大丈夫？



この人は
一振り目の
燭台切光忠

この本丸では
古参の刀で
頼れる存在だ

火傷には
気を付けてね

…僕よりも
余裕があるのは
錬度の差かな…



…ねえ君の
つがいの相手って
一振り目の
大俱利伽羅だよ

ん!?

え…あ…
そうだけど
なんだい
いきなり…



君が上?

し…
下だよ…
(小声)

…急に
どうしたんだい
びっくりしたよ

…???



…その、

君を手練れと
見込んでお願いが
あるんだけど…

て…
手練れ

…そっか、
そんなことが
あったんだ…

僕としては
伽羅ちゃんが
気持ちいいなら
それでよかった

でも伽羅ちゃん
つらそうな
顔をしてたし…

僕が痛がることは
もうしたくないって
言われちゃって

き…

気持ちよくなる
コツがあるなら
教えて欲しい

…頼むよ、
こんなこと
君にしかお願い
出来ないんだ

次があるなら
もっとうまく
やりたい

…同じ
刀だから解る

燭台切光忠が
房事の指南なんか
お願いするなんて
本来耐え難いはず

本当に
大倶利伽羅を
好いていて
彼に尽くしたいんだ

——ここは期待に
応えないとね

…オーケー

都合の合う
夜が来たら

僕の部屋に
来てくれ

これから僕が
どうなるのか
わからないけれど

……

無様を晒す
ことになるのは
違う

入っても
いいよ

折角胸を貸して
もらっただ

得るものは
得て彼の元へ
戻りたい

でも
大俱利伽羅の
ためなら

…お邪魔します

どうぞ
入って

…話は
いつ頃終わり
そうなんだ

ああ、
君はそのまま
居てくれ

攻め手の
声も聞けた
方がいい
だろう

何の話だ…
俺は何も
聞いてないぞ

今から
この身体に雌の
味を覚えさせる
んだよ

君が
僕の身体を
そうした
ようにね

め…めすの
あじって…!?

トッ

—おい、

入るぞ



光忠?
…?



こんな
タイミングで…

伽羅
ちゃん…?



…でも流石に

君の許可無しに
君のつがいは
触れるわけには
いかないから



うん!
君の光忠くんが
房事の手解きを
頼んできてね



嫌な予感を察知

おい…
一振り目
俺を
呼び出した
意図を聞かせろ



…この子を怒らないであげてくれ

光忠が一振りが恥を忍んでまで

君のために君に抱かれるすべを請いに来たんだ

うう…
怒っている…

キ



でも、フェアじゃないから君も呼んだんだよ

その方が君も納得するだろう

…



知らないだけだよ

ここ…僕ならすごく好きなのはだから

むいん

ん…っ!



あ…

僕…そこはあんまり…

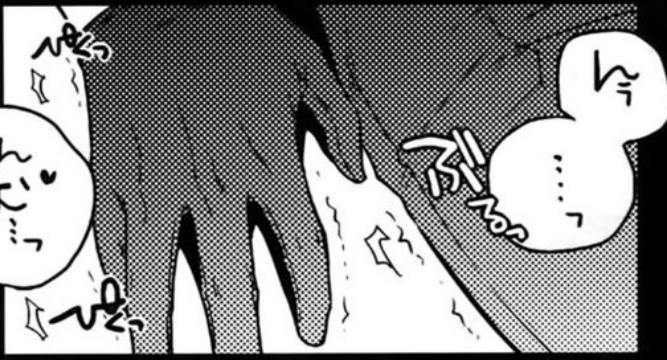
くすぐったいだけで…

やっぱり未開発



…くち、

借りるよ



ん…

ん…



あまり
触るな

…そいつに
触れるのは
俺だけでいい

さすが龍の刀
嫉妬深い

そいつの
思ったよ

…でも
もう準備は
出来たから

光忠くんは
隣の空き部屋で
少し待ってて
くれるかい？

ちよつと
大俱利伽羅くんと
話があるから

じゃあ
後で：

ん。

龍の刀が
嫉妬深いのは
倣いな？

知らん

俺はまだ
了承して
ないぞ

え

：ねえ
大俱利伽羅
くん

君の光忠くんの
感度が鈍いのは
そこが気持ちいい
場所だって
知らないだけ

誰のせい
でもないよ

だからそこは
気持ちいい
ところだって

直接
身体に教えて
あげればいい

……ふう、

ん。

反省
しないで

伽羅ちゃんの
気持ちを全然
考えてなかった

他の人に
触らせるのは
嫌…なんだ

…妬かれてる
なんて自惚れそう

それにしても
回吸いだけでも
すごかった!

僕も練習次第では
ああなれるかな

伽羅ちゃんにも
してあげたい

今たって身体が
びびって…

むいっ

いま…
引っ張られ…

ん…っ!

びびる

何もしてないし
されてないはず
なのに

手…ちびる…舌…

誰かに触られてる
みたい

だ…誰

こ…今度は
吸われてる…っ

やめて
くれ…!

舌の感触を
追いつける
柔らかいその

加羅ちゃん…!

これ…僕の
感覚じゃない

僕以外の誰かの
触覚がトレース
されている…

たぶん…
一振り目の
燭台切光忠

胸…

乳首は反応
していないの

さっきまでは
くすぐりたい
だけだったの…

転がされてる
感触…

あの時
この感覚の共有が
施されたのかも
知れない

あ…

気持ち
いい…っ

見えない
手が…舌が…

胸から腹に

背中に

腿の内側…
膝小僧…

足の指に
濡れた感触

焦りだしている…っ

こんなに
気持ちよく
なれるんだって

教えたかった
んだけど…

初心な身体に
過ぎた快感は
荒療治だった
かもしれない…
ごめんね

きっかけを
植えたのは
僕だけ

育てるのは
君の仕事だよ
大倶利伽羅

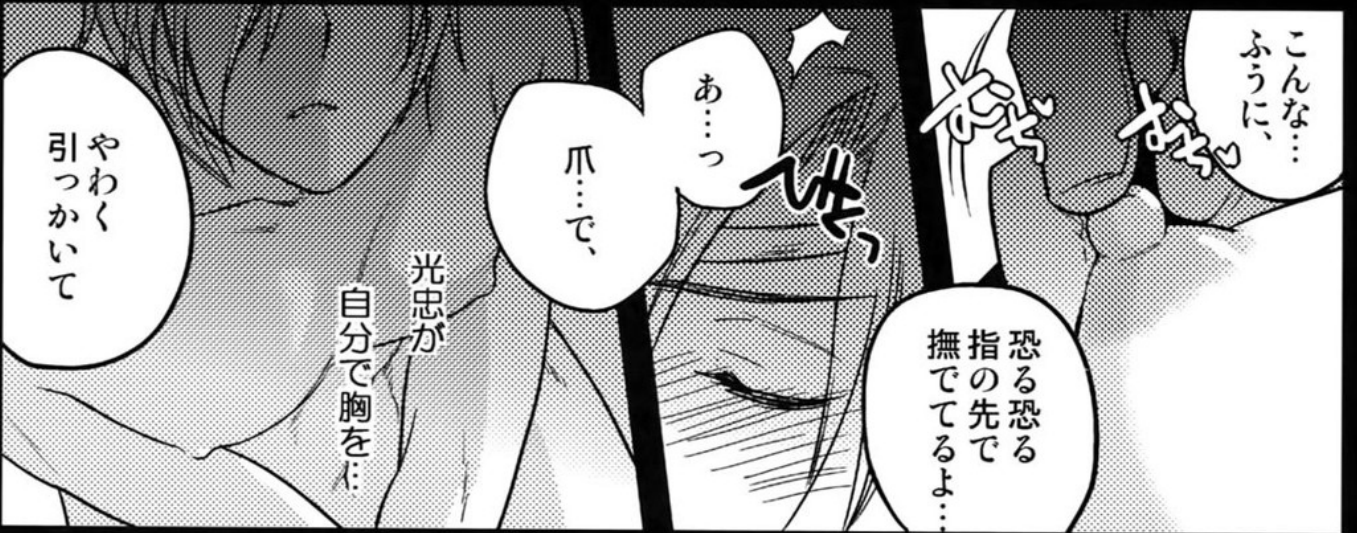


あ…

ふふ

あつちの僕…
胸がイイの
解つちやつた
みたい

…どんな風に
弄ってるか
知りたい？



こんな…
ふうに…

恐る恐る
指の先で
撫でてるよ…

あ…っ

爪…で、

光忠が
自分で胸を…

やわく
引っかいて

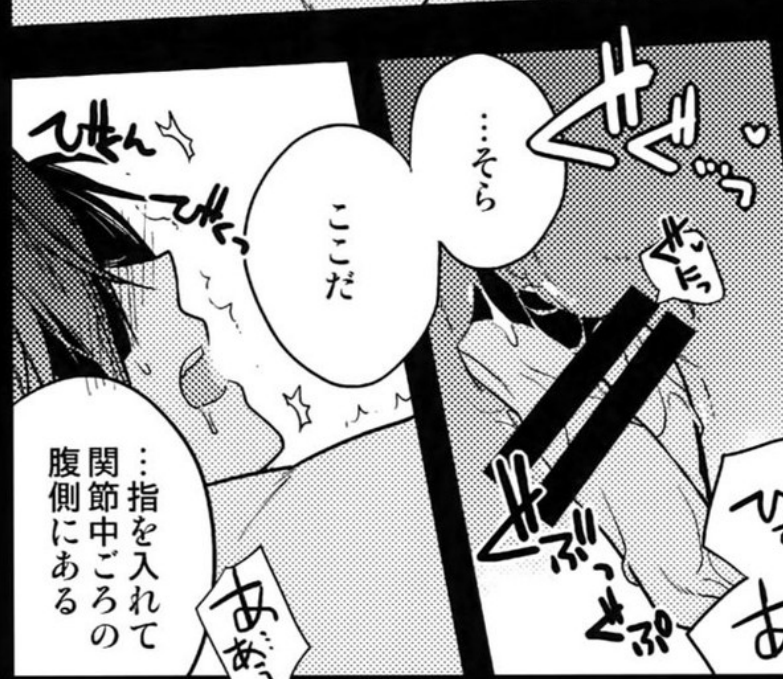
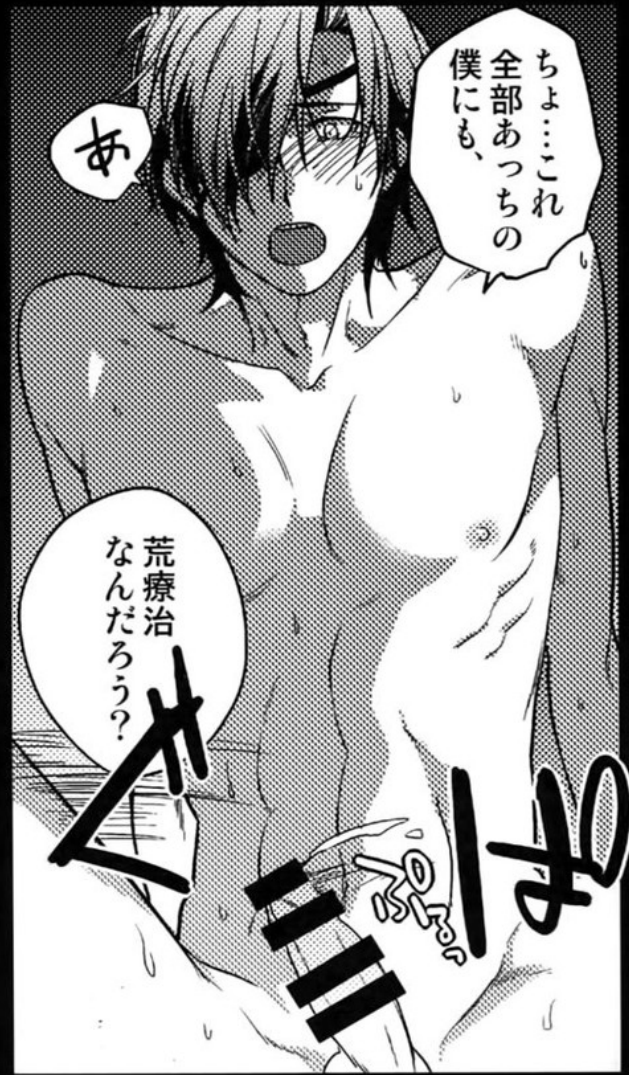


あ、

あんたは
抓られるのも
好きだろう

女…っ
女…っ
女…っ

や…っ
手加減して、





お尻の…なか…?

こんなの
知らない…



いったのに
射精出来ない

快樂に
終わりが無い

疼きが
止まらない

もう
やめて…!!



なかを擦られる
感覚がこんなに
気持ちいいなんて

つがいの
指の太さと陽物が
ほしいのに

ひとりのじゃ
耐え難い

加羅ちゃん…
助けてくれ



伽羅ちゃん…？

あ…

…光忠



伽羅ちゃん

君の手で
直接触って
欲しい
…もう一度
僕を抱いて
くれるかい？



あんたの身体を
育てるのは
俺だと言われた

俺が不甲斐
無かった…

後悔させて
しまったか

子猫みたいな
声をして
必死に



そんなわけ
ないのに



君が触れてる
ところ全部



あの夜は
あの夜で

…ねえ
伽羅ちゃん
僕はさ

君と初めて
繋がるのが
出来たのが

ものすごく
嬉しかったよ



だらしがない
顔をしてるぞ



あおい
あんた
あいつと
まだ繋がった
ままだろう

ちやつた？
ちやつた？



ふふ、
心配だった
んだよ

あつちの子：
お腹が空いた
猫みたいにしやぶってる
昔の君みたいで
可愛い……

ん、



繋がった
ままにいる

ちよ、
この状態で

知らん

せいせい
よがればいい

待って、
待って、
モウモウ



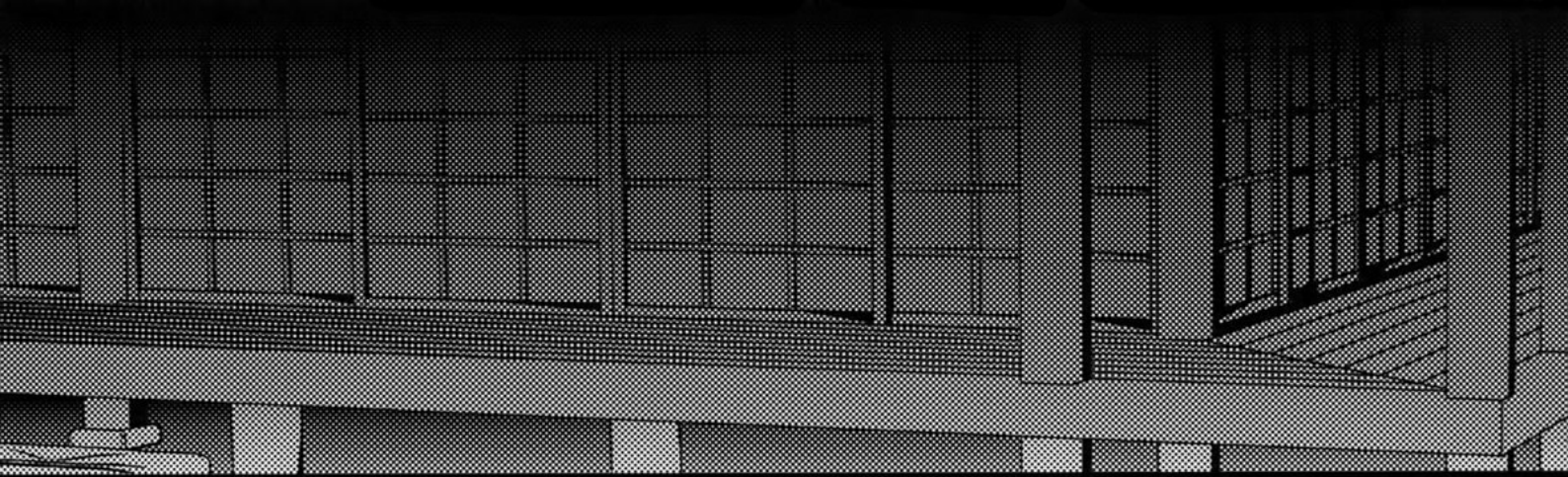
……



ほしぞらとねむるころ1+2

光忠が夜な夜な大俱利伽羅にオカズにされてる自覚を持ちつつ相互自慰をする話です。





ん…?

加羅ちゃん
かな…?

あ…

あ…

あ…

あ…

あ…

夜戦から
帰ってきたのか...

おかえりって
言っただけなのに

ああ、眠い...

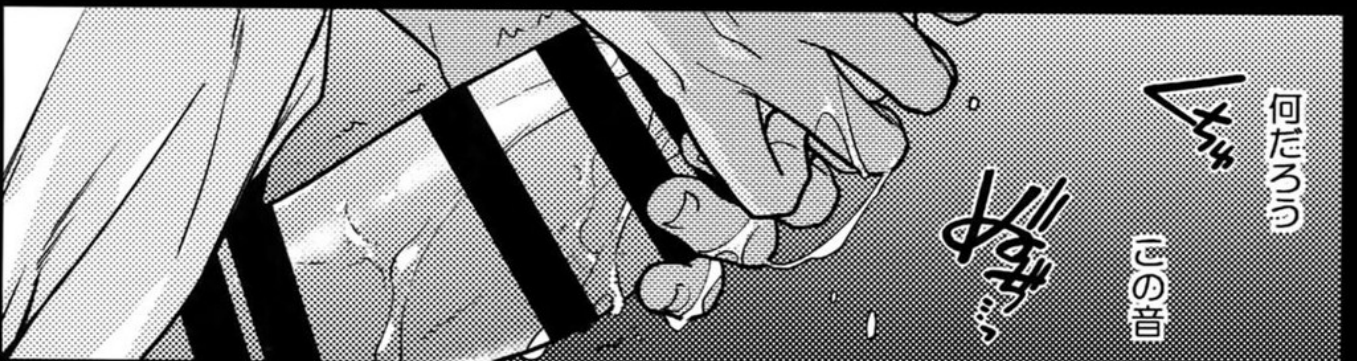
どうして
僕の部屋に...



光忠

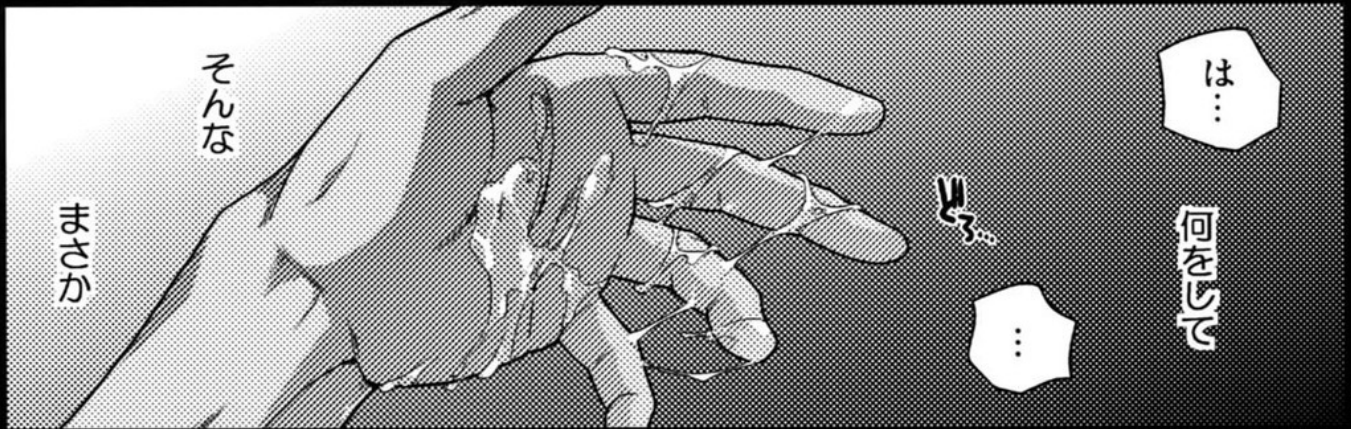
...

!...



何だろ

光忠



雄の
においがする



僕の名前を
呼びながら

あの
加羅ちゃんが



ひひ...
ひひひひ...



昨日は一体
何だった
んだろう...



自分でその
「すすり」...



うっ...

なんだろ...



あ...っ
ありがとう！
助かるよ

びびりした！

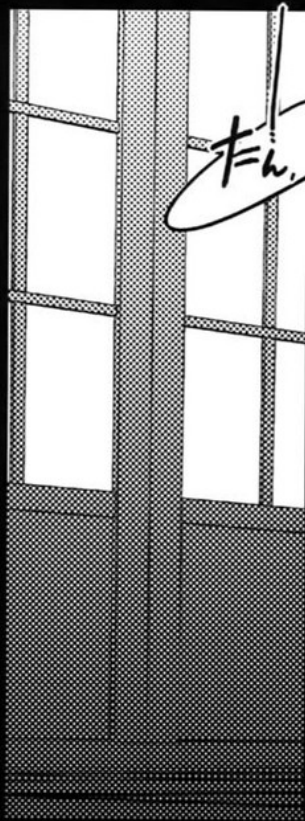


芋の皮むき
が終わった

びびりした！

いつものように
でも優しい
いつもの
加羅ちゃんだ





僕で、
僕を見ながら

どうしよう...っ

か：
加羅ちゃん



ど

どうしよう...っ



ん...っ

びびり

.....

加羅ちゃんの
においが
残ってる...

あの
手のひらと
同じ手で



は...

びびり

己を
扱っている
君は

どんな

顔をして

あ...

びびり

びびり



…知りたい

カーン...

おつ
この時間だと
お帰りは
第一部隊か



う...うん
そうだね



女
おんこ

んん

伽羅坊は
今日第一
だろうか？

出迎えがてら
休憩しないか



いつも通りの
伽羅ちゃんだ

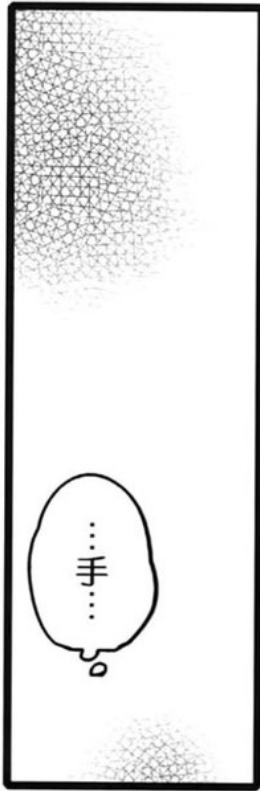
でも...



顔を
まともに
見られる気が
しない...



あんなどの
あどじゃ...

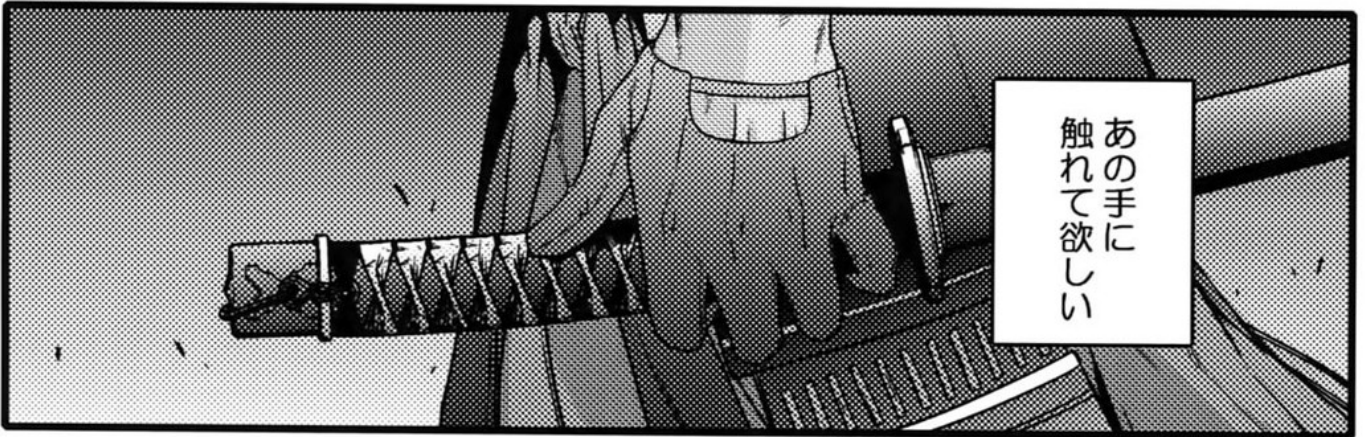


…手…



あの
大俱利伽羅が
自慰するところ
を想像して

…自慰して
しまったなんて



あの手に
触れて欲しい



普通通シ

伽羅ちゃん
おかえり!

厨に
軽食を
用意して…



光坊?
疲れたのか?

あ…っ
そんなこと
無いよ!
大丈夫!



こんなの
かすり傷だ
問題ない

ん…

！
口元
怪我してる



…小さな
傷でも

ちゃんと
手当て
しなきゃ

その舌は
どんな熱を
持つのだろう

なんて

…ああ、
不埒で
不健全だ…

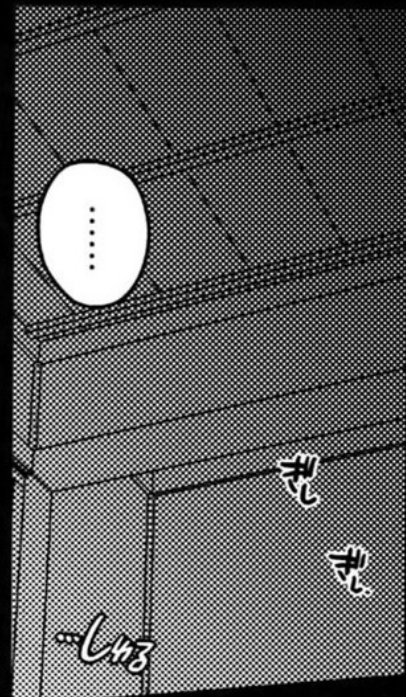
でも

大俱利伽羅にも
責任がある





んッ



……



光忠……



濡れた音

荒い呼吸

……こんな
生殺しの状態で

はっ
……



目を開けて
しまえたら……

どんな風に
自分で触って

歯を噛んで
声を我慢
してるのか

んッ

んッ

ん



……顔が
見たい

…大俱利伽羅
の中で僕は

どんな姿の
僕なんだろう

抱いているのか

抱かれているのか

少し手荒に
暴かれて

それから…

…いっそ
触れてくれたら
いいのに

あ
あ
僕の
いやらしい姿を
想像して

肉を扱いて
射精するのか

聞いてみたい

僕で
何をしたいのか

お…っ
おおくりから…

ん



きつと彼の中の
僕は散々好きに
さねている

…僕が
目の前に
居るのに

妄想の僕に
嫉妬しながら

僕をおかずに
精を抜いている
彼の姿で毎夜
自分を慰めている



……

恥を
捨てれば

誘いで
乗っ取る
たろっか



…は

恥ずかしい…

目を閉じていても
視線を感じる



肌を晒せば
触れてくれるかも

そうは
思ったけど

あからさま
すぎたかも
しれない！



僕が彼の目に
どう映ってるか
確信を持ってないのに



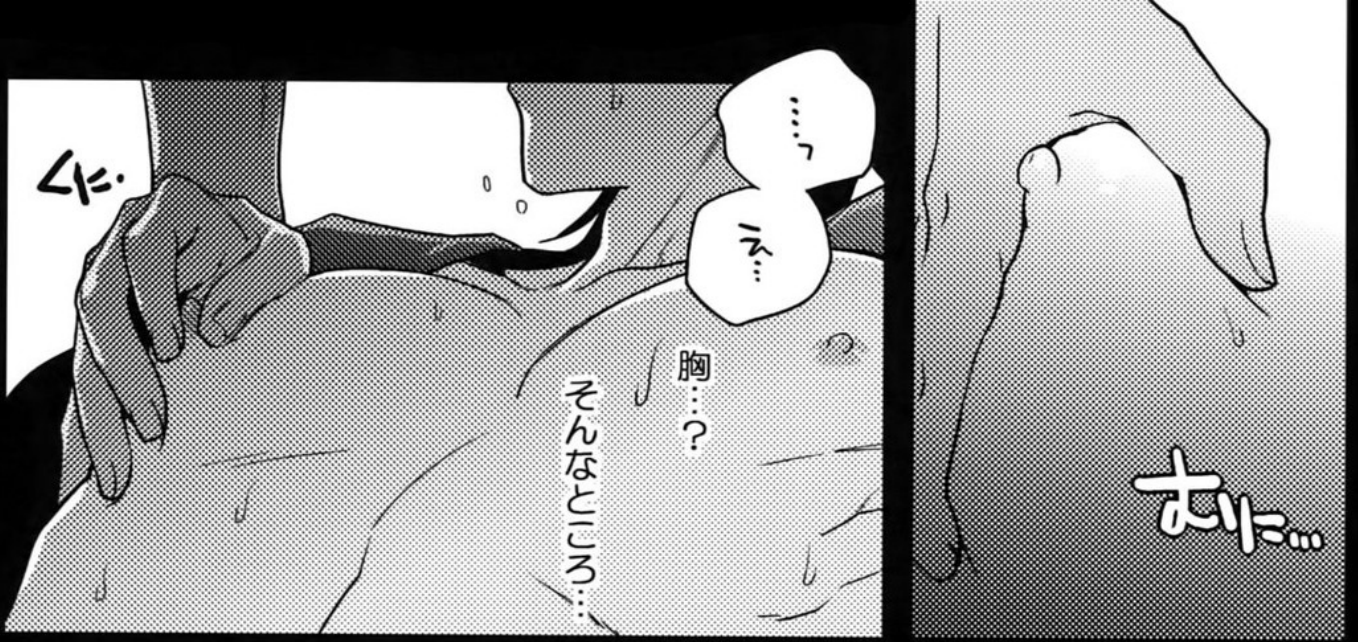
触って
くれた！

手！
熱い！

だめだ！
うごいちゃ...



……ッ！





は…
恥ずかしいよ

ん

…啜えてくれ

いつもより
少しだけ強引な

あ

ん



大俱利伽羅の
もう少しだけ
膨らんでる

僕で
興奮して
くれる

ん

ん

啜える
なんで

僕初めて
なのに



…みつただ

かわいい

いきそう
なんだ…

ん…

う

寝ているフリが
バレたのなら

もう少し
大胆になれる

…伽羅ちゃん

いくなら
こっちに…

……!

そっ…
大便利伽羅は
こっぴうどこも
可愛い

さっきまで
弄ってたから…
すぐに挿るよ

強引なもの
いひけれど



どうして
顔を
隠すの…?

恥ずかしがりやな
ところもあって

…光忠!

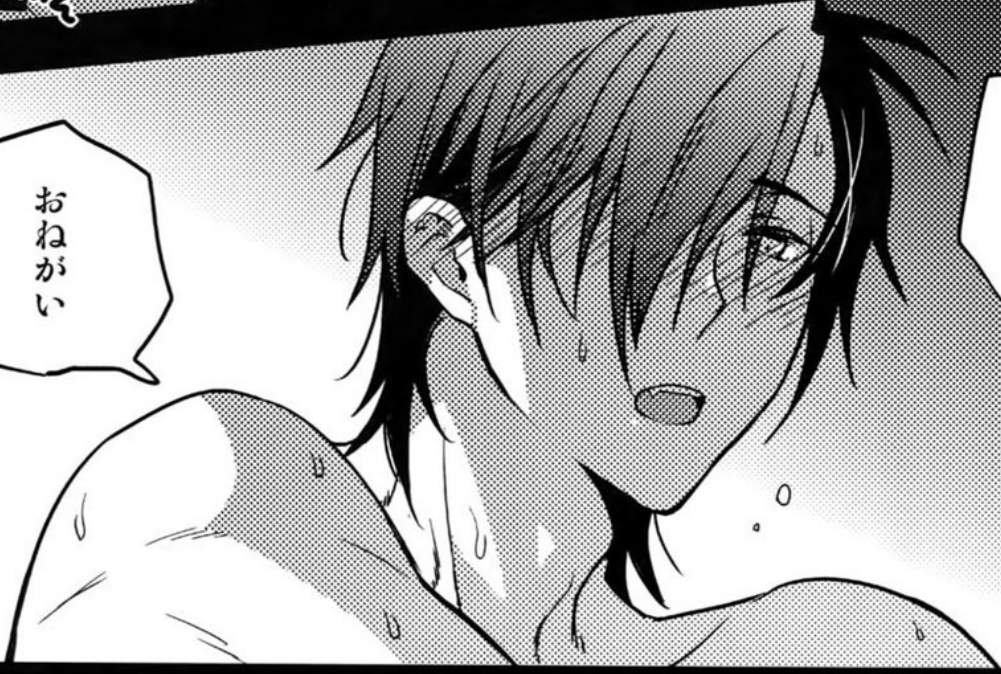
押しに弱くて
そこも可愛い

あ…!



からちゃん…

おねがい





……あ、

おねがい
顔を
見せて……っ



出ちゃった……

夜な夜な

……また
大俱利伽羅で
抜いてしまった

妄想の中でも
僕を抱く彼の
顔が想像出来ない

多分今夜も彼は
僕の顔を見ながら
自慰をしようとする

失敗した
今日は淑やかに
抱かれるつもり
だったのに



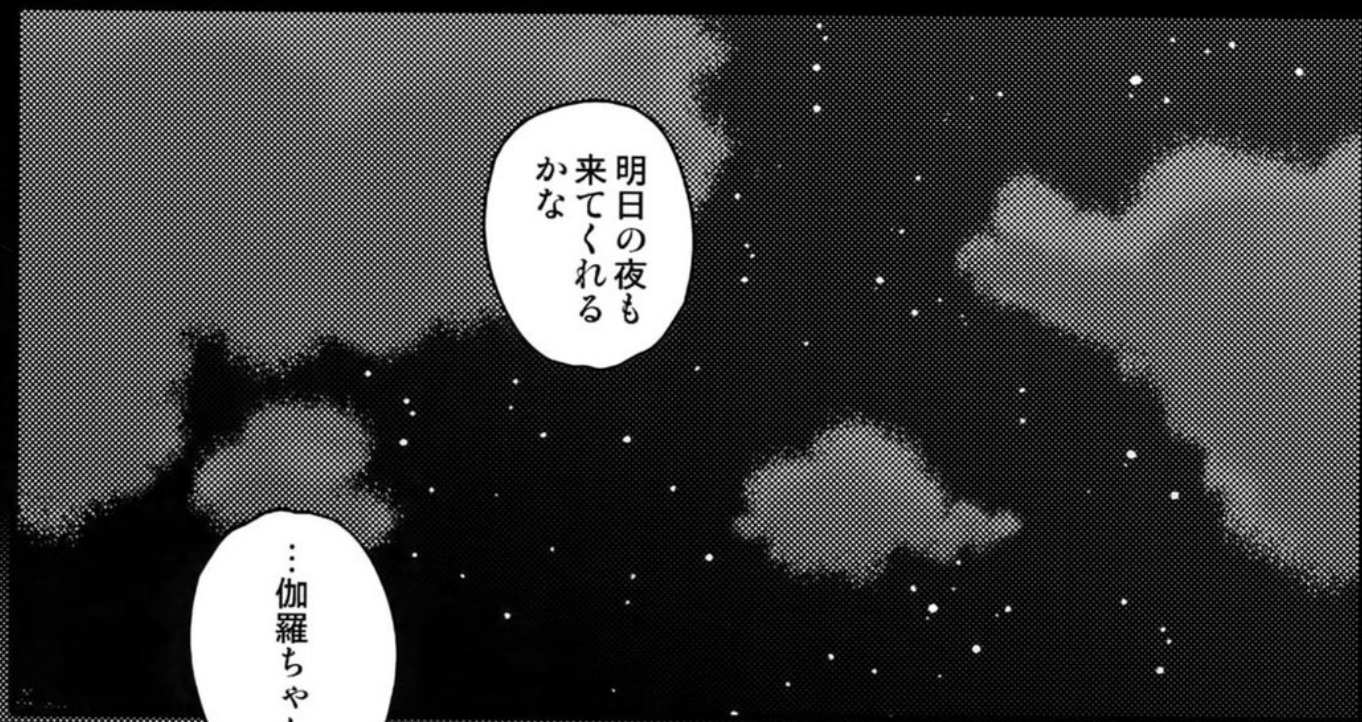
大倶利伽羅は
軽く触れること
しかして欲れない

カッ...

もっと
深いところを
触って欲しい

どうしてこんなに
触れて欲しいのか

奥に
触れてくれれば
解る気がするのに



明日の夜も
来てくれる
かな

…伽羅ちゃん

…魔が差した、
としか言いよう
がない

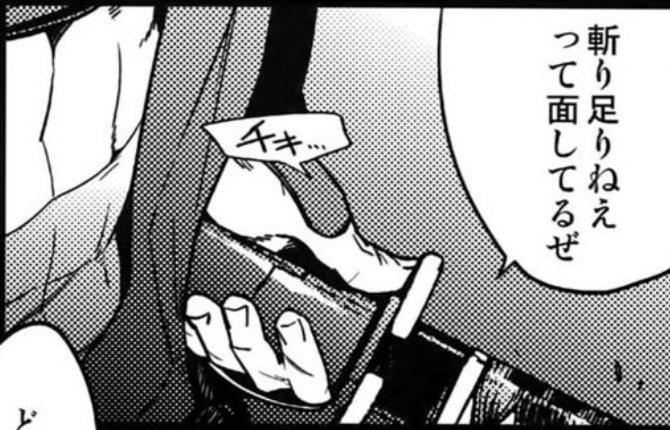


部隊長を
差し置いて誉を
取りまくってた
かと思えば

随分なツラ
になっくんじゃ
ねエか、

なあ？





斬り足りねえ
って面してるぜ

どうだ

その熱、簡単にや
治まらねえだろう

！



大俱利伽羅

いいだろう
乗ってや...

夜戦帰りで
腹が減ってる
たろうと思つたら
元気がいいかい
じゃないか？

血気盛んで
何よりだ

夜食抜いて
寝なおして
やろうか

本日の夜食当番

！！

！？

まったく…

早く食べて
早く部屋に
帰るんだよ？

昂ぶったまま
身体が鎮まらない
のは本当だった

光忠とは
元同室
だったが

夜戦に行くように
なってからは
別室になっていた

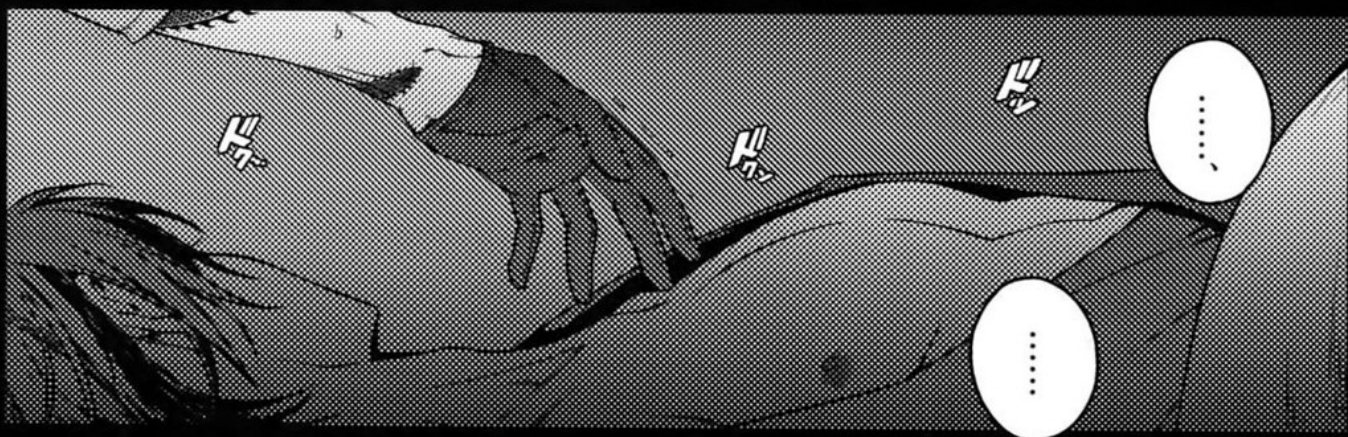
くそ…今更
部屋を間違えた

…とととと
寝てしまおう

支那



—初めて
覚えた衝動
だった





光忠の白い肌が
やけに艶かしく
感じた

衝動は
止められそう
になかった



逃げるように
部屋を出た



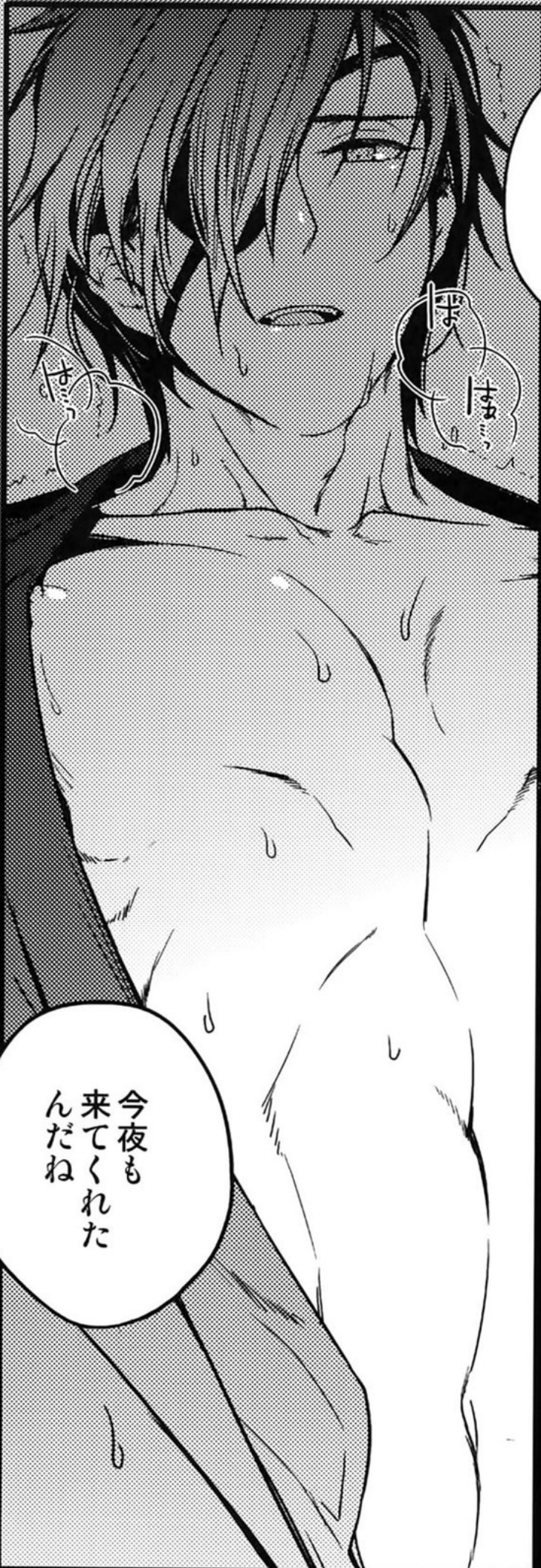
身体が
昂ぶりを
履き違えている

覚えたのは
確かな肉欲
だった



昂ぶりと
一緒に
冷えた頭に

残ったのは
後悔だった



…大俱利伽羅、

今夜も
来てくれた
んだね

ほら
ほら

ほら
ほら

見てて、
僕の…

い…
ん…
ん…

あ

あ

…変な癖が
ついて
しまったな

…あの夜、
眠る光忠に
触れてしまった時

眠りが浅かった
光忠にすべて
を知られた

それを許して
受け入れて
くれたが

…そこで妙な
癖がついた

…俺の自慰に
ひどく興奮する
らしい

…君のも
早く見せて？

…俺も俺だ

それから互いに
手淫を見せ合う
ことをしている

…でも光忠
で抜くのが
一番くる…

…
ん…



…見すぎ
だろう

あ…
ごめんね

…俺も
毒されてきた
かもしれない

君がするところ
ずっと見て
いたから
つい…



君って禁欲的
なイメージが
あったから

ちゃんと
おちんちん
あるんだな
って

おい
どういう
意味だ

伽羅ちゃんも
こういうこと
するんだって
すぐドキドキ
する…



…ねえ

君が僕で
えっちなこと
してたとき

どういう僕を
想像してた…?





……
野暮だぞ

駄目かい？
一度聞いて
みたかったんだ



孤高を
是とする君が

すごく
格好良くて
気高くて



…見せてもらおう
かわりに

君の目の前で
オカズになるよ



浅ましい姿を
僕にだけ見せて
くれるものだから

そればかり
気になって
しまつて

僕で
どんなことを
考えてたのか

ん…っ

こ…

こ…う…？

自分で弄った
ことはあるか

無いよお…

要求が
予想外すぎて
早くも後悔
してるよ…

こんなに
揺れるもの
なの…

いつも
揺らして
ただらう

ないよ

…いつも
見てたの…？

えっち

…触って
いいか？

だ…っ
だ…っ
だめ…

…もうすでに
立ってるな

じゃあ自分で
触ってくれ

どこを触れば
いいか解る
だらう？



どう触れば
いい...?

か...

あ...

つまんで
擦り合わせる
だけでもいい

あんなが
快いように
動かしてくれ

あ...



あ
あ
あ

あ

あ

あ



...
...先の方を
撫でる

ん...

指で
はじけ

つついて
みる

あ



加羅ちゃんは...

ああ...

見える...

興奮...こわわてる

自分で
♡♡♡♡♡
♡♡♡♡♡



は...

恥ずか
しいか

恥ずかしい
の...
♡♡♡♡♡

指で
止まらな

ねえ...っ
加羅ちゃん...

オカズに
触るのは
反則だよ！

あ...

そんな
ルールは
知らん

僕を見て
あんなに
大きくしてるのか

これじゃ...
僕ばかり
気持ちよく
なっちゃう...

は...
ん...

恥ずかしい

気持ちいい

恥ずかしい...

...触れさせてくれ

あ...

ん



…続きは？

【おまけ】



…

はま

はま



ごめんね…
僕ばかり…

大俱利伽羅が

僕で気持ちよく
なってるところが
見たい

伽羅ちゃん
まだいって
ないよね…？



…光忠

ふたりで
したい

…いいか？

ひとりで居たがる
大俱利伽羅が
「ふたりで」と
言ってくれた

それだけで
今までの
どんな時よりも
気持ちが昂ぶる

…好きだ、
と思った





は...

あ

あ

あ...



大貝利加羅の熱が

ねっが...

あ

あ...

あ

あ... あ... あ...

ん



からちや...
あ... あ... あ...



あ...

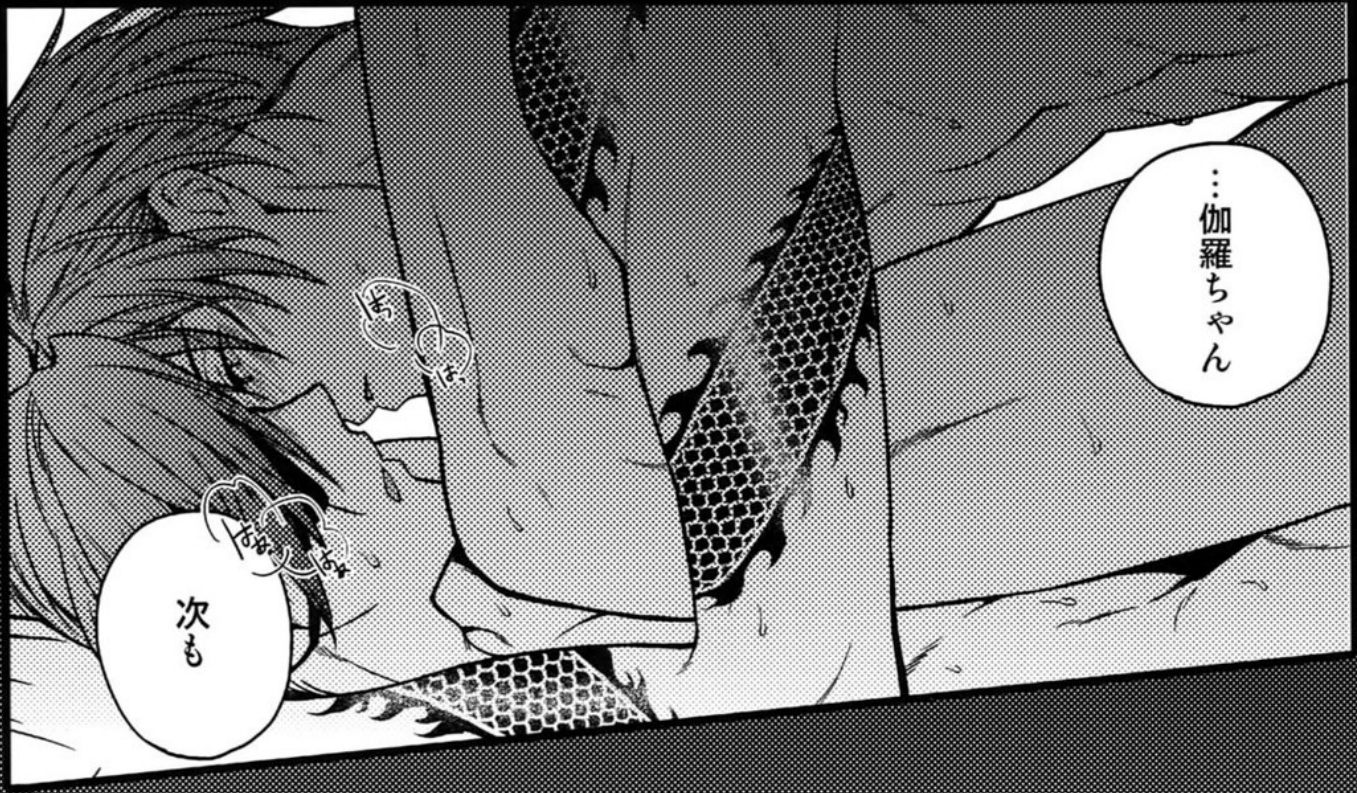
あ...

あ...

あ...

あ...

あ...



…伽羅ちゃん

次も

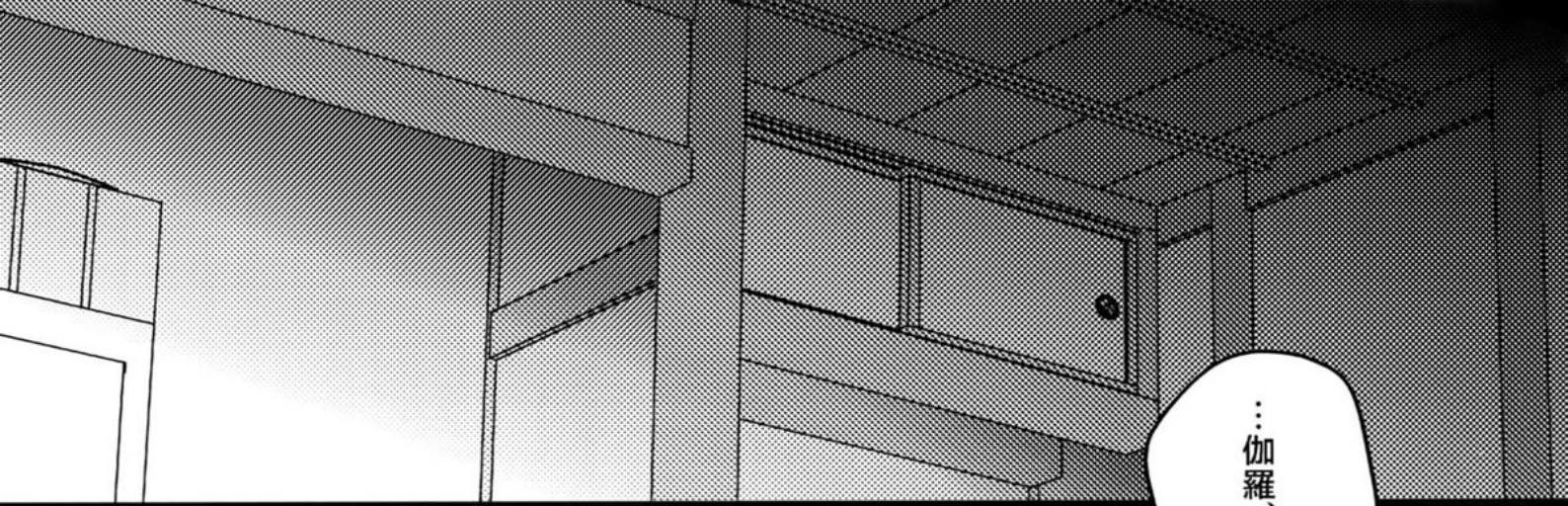
…次も…
ふたりで…
したい…



雪ふる宵に花ぞ咲く

大俱利伽羅が光忠に好き勝手したり眼帯剥がしたりすけべと言われる軽率な姫はじめの話です。





…伽羅、ちや

どうして…

はやく

動いて…っ

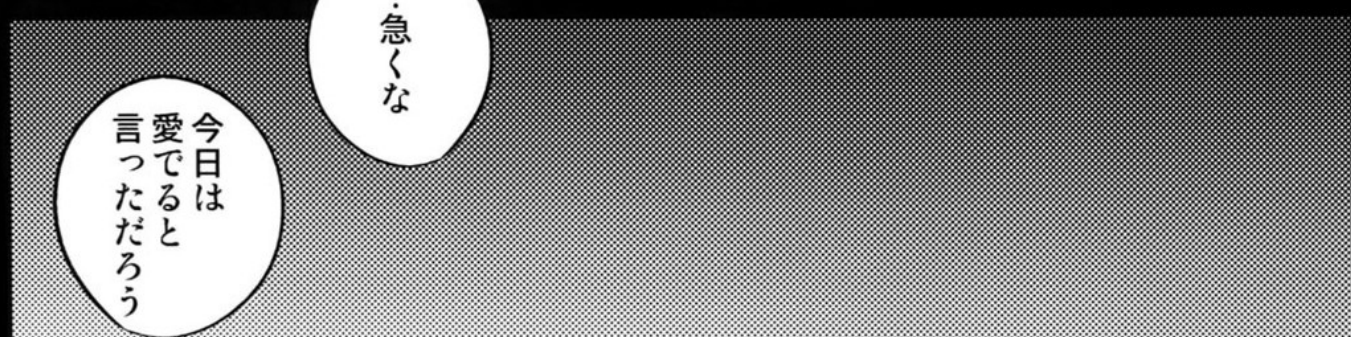


挿れたまま
ずっと…

さっきから

…急くな

今日は
愛でると
言っただろう



新年明けて
三が日最後の
宴の日

大俱利伽羅が
聞にお誘いを
くれた

——彼が
言うには、

「…光忠」

「今日はあんたを
愛でさせて欲しい」

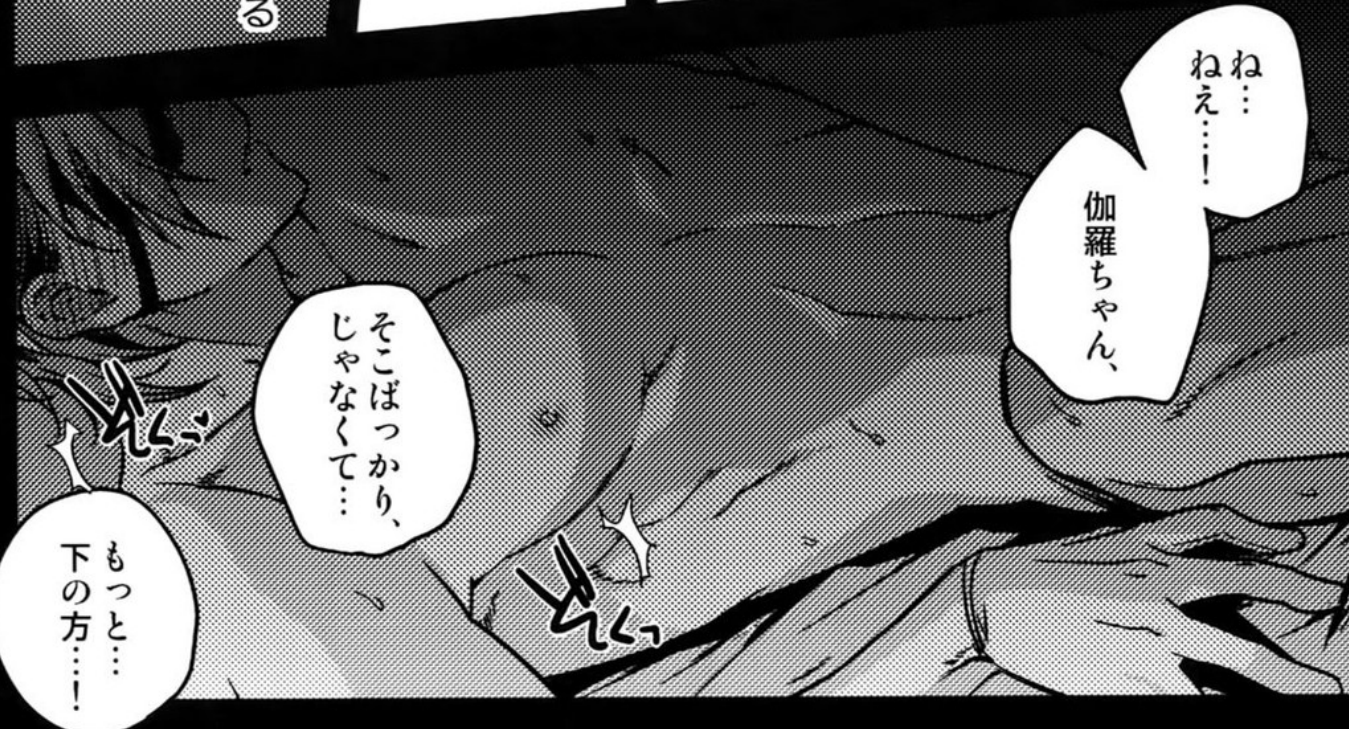
酒気で火照った
彼のかんばせが
可愛かったのと

…その時は
申し出が嬉しくて
了承してしまった

それが
こんなことに
なるなんて

挿入されたまま
延々と

甘い責め苦を
受け続けている





あ

痕を残すのは
忍びないが

…真白い雪
みたいだな



やっ

食べる
みたいだ

ち…



ちが…

いやだ

恥ずかしい…!

…盲そうに
咀嚼してるな
達きそうか



伽羅ちや…

ああ…
伽羅ちゃんには
動いてないのに

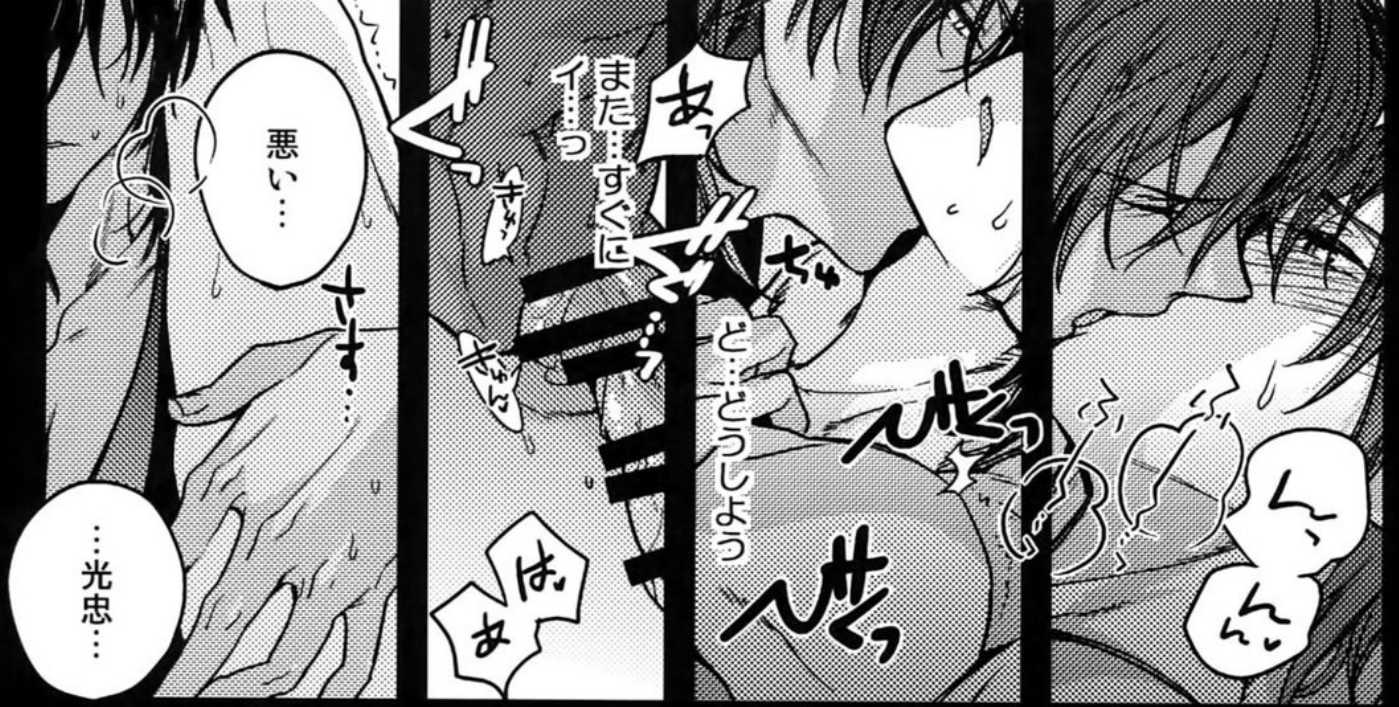
身体が
勝手に…

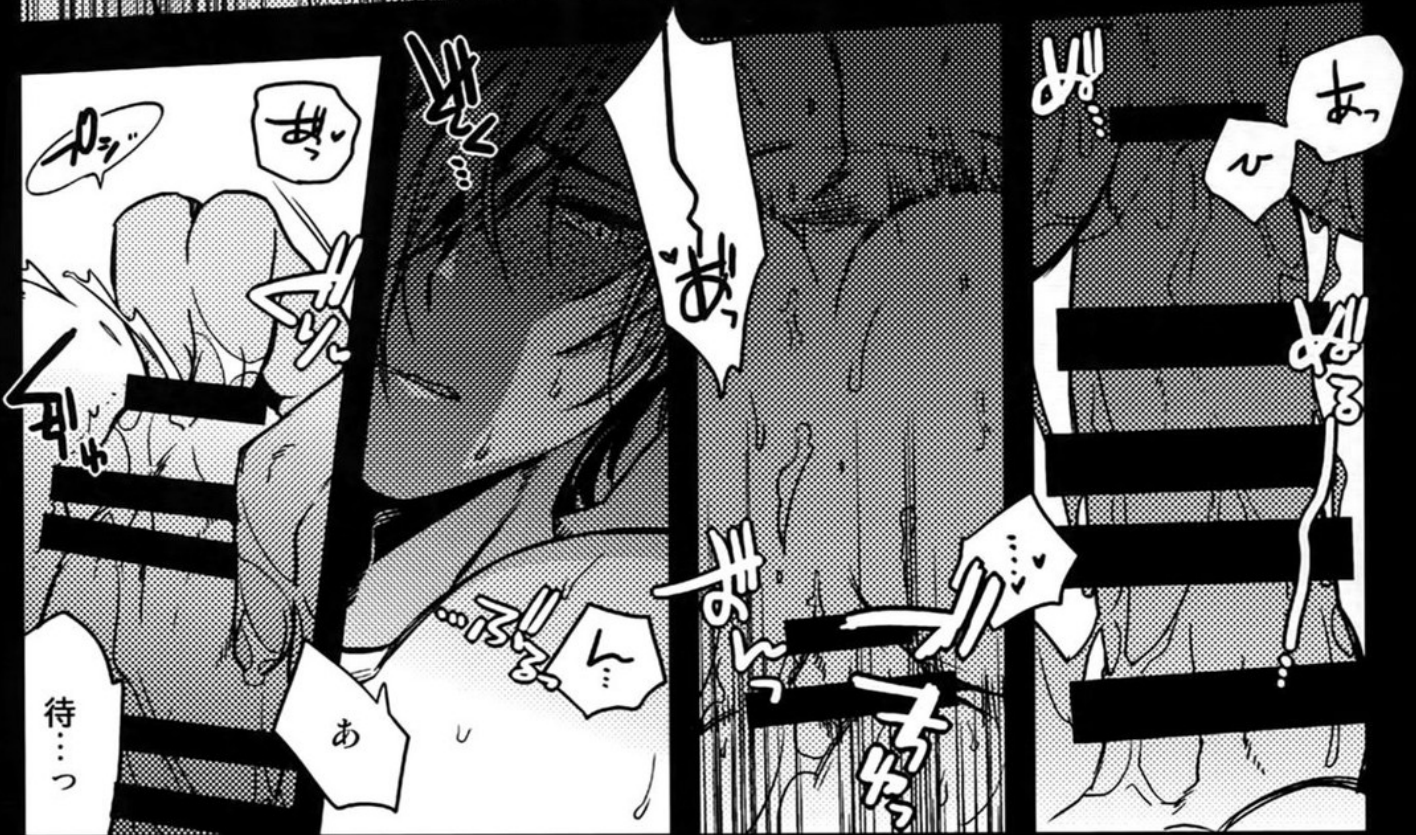
…痕、
付けられてる
だけなのに

たくさん
気持ちいい

僕…













雪が降ってる



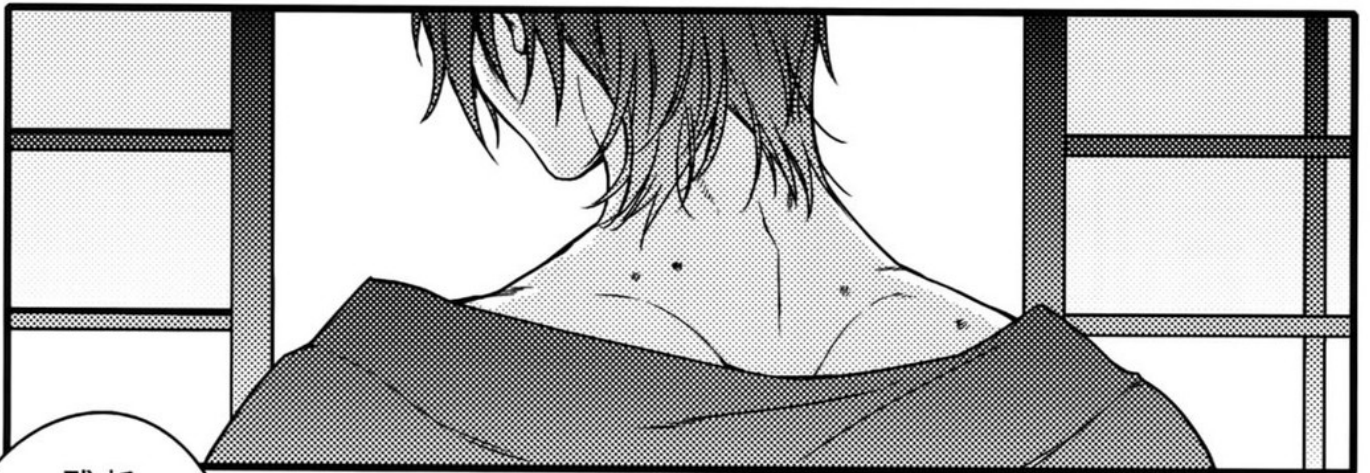
!

見て
伽羅ちゃん



…ああ

庭に降りて
みようか



新雪に痕を
残すのは好きだ



花綴

式



はこのなかにいる



はこのなかみは



ご教示お願いいたします



ほしぞらとねむるころ1+2



雪ふる宵に花ぞ咲く

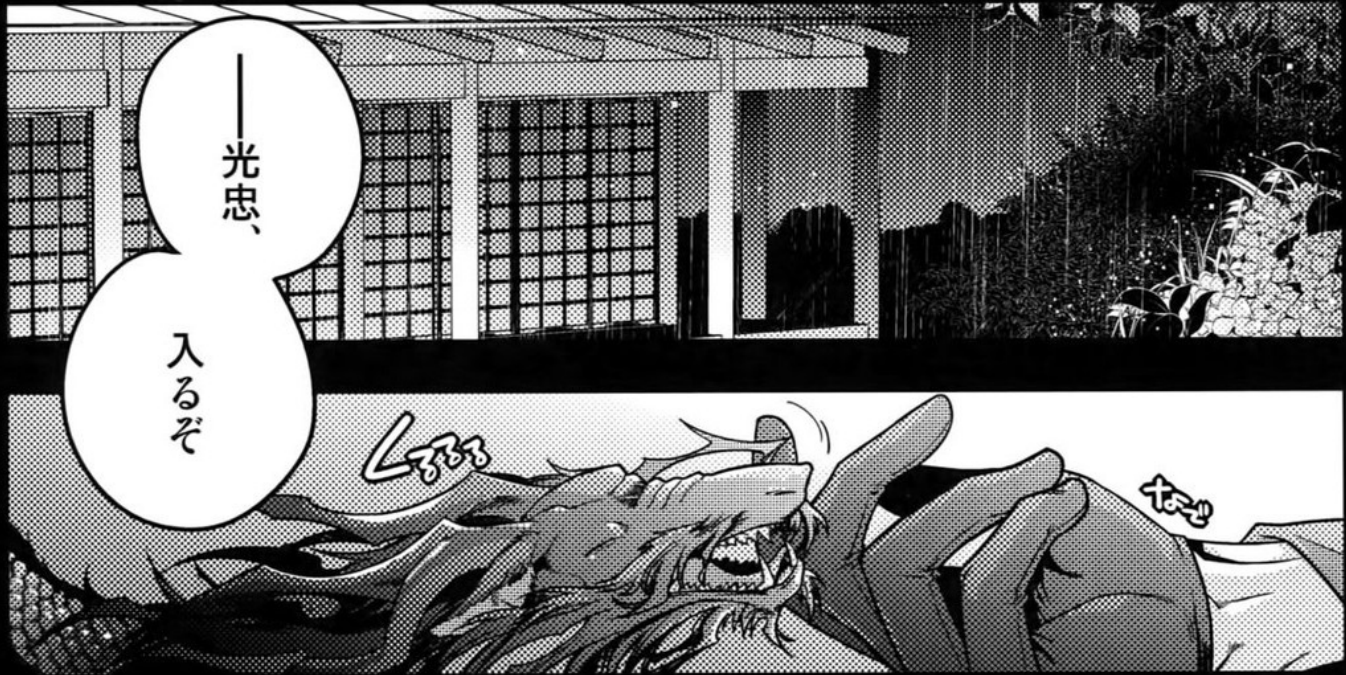
発行：QQaid/猫山クロ

PixivId=25585

印刷：ONEDAYさま

2019.10.13

※ネットオークションやフリマアプリなどへの出品、
ネットへのアップロードなど無断転載は厳禁です。
一般の方の目に触れないようご注意ください。
ご不要の際は同人専門の廃品回収業者でご処分をお願い致します。



— 光忠、

入るぞ

くら

た



やあ、
伽羅ちゃん

そろそろ
来る頃だと
思ってたよ

やっぱり
ここに居たか

…それら、
早く戻れ

そう
叱らないで
やってくれ

雨の降る
夜半によく
来てくれる
んだ

あっはっは
くすぐった
いよ!

こんな日は
冷えるから
助かってる

君の
倶利伽羅竜
だからかな?

見た目からじゃ
意外なくらい
あたたかくて



あっ
コラ！

乱暴しちや
駄目だろう
君の子じや
ないか！

おい！


俺が産んだ
みたいにな
言うな

ミー
似たような
もんだろう



ああ：今夜の
湯たんぽが：






あたかな
俱利伽羅竜は
彼の心そのもの

彼の分身は
彼よりも素直
みたいだから




ふふ



やっぱり
あったかいな

あの子、
君と同じ
体温なんだ



こうして
会いに来て
くれる

雨露の夜に
乗じた温もりは
いっそう恋しい



花綴 式

Ookurikara
×
Syokudaikiri Mitsutada
issued by QQaid

オークション出品
フリマアプリ出品
無断転載禁止



はこのなかにいる



はこのなかみは



ご教示お願いいたします



ほしぞらとねむるころ1+2



雪ふる宵に花ぞ咲く